

令和5年12月 番組審議会議事録

株式会社び〜びる

2023年12月5日

作成：放送部 中西裕一

令和5年12月番組審議会 議事録

- 日 時 令和5年12月5日（火）17：00～18：30
- 会 場 唐津シーサイドホテル
- 出席者 委員長 栗原 宣康（唐津市教育委員会 教育長）
委員 石崎 有希子（唐津市政策部 広聴広報課 課長）
委員 中武 友子（唐津地域婦人連絡協議会 副会長）
松田 毅（佐賀新聞 唐津支社長）
宮崎 吉輝（玄海町議会 議員）
山口 ひろみ（唐津市子育て支援情報センターセンター長）
山下 正美（唐津商工会議所 専務理事）
ぴ～ぷる 中村 隆（代表取締役社長）
ぴ～ぷる 山下 善史郎（取締役常務）
ぴ～ぷる 亀井 信一（取締役放送部長）
ぴ～ぷる 松尾 卓（放送部課長）
ぴ～ぷる 中西 裕一（放送部主任 玄海町行政放送担当）
- 欠 席 委員 木村 剛（唐津青年会議所 青少年交流委員会 委員長
／(株)渚館きむら 代表取締役）

※敬称略。委員は50音順

■. 株式会社ぴ〜ぷる 社長 中村 隆 挨拶

番組審議員のみなさんにおかれましては、1年間ご審議いただきましてありがとうございました。

皆様の声を反映させて、放送を通じて地域へ送り込みたいと思いますのでまた来年もよろしく申し上げます。

■. 番組審議委員長 栗原 宣康 委員長 挨拶

今日は、前にお送りいただいたDVD、それから実際にご覧になった番組をご視聴いただいたところで、全ての委員様に少なくとも1回はご発言をいただきたいなと思っています。

■. 番組審議（下記対象番組）

審議主対象番組

● 『～約束～ 馬渡島の子どもたちへ』（2023年10月7日 再放送）

【初回放送】2023年9月28日 【番組時間】60分 【制作】田中 直也

唐津市の離島・馬渡島にある児童養護施設「聖母園」の子どもたちと、唐津出身のシンガーソングライター森田智子さんとの交流を描いた作品です。

自身もいじめられた経験を持つ森田さんが、歌を通して次第に子どもたちとの距離を縮め、閉園が迫る聖母園の子どもたちに『～約束～ 馬渡島の子どもたちへ』という曲をプレゼントするストーリー。

島に息づくキリシタン信仰の歴史や美しい自然を描写しながら、現代社会の様々な問題にも眼差しを向けた作品となっています。

● 『～約束～ 馬渡島の子どもたちへ』の意見（要約）

山下：番組をじっくり観させていただいた。

森田智子さんが全部一貫した主人公かなと思いながらも、途中から聖母園の子どもたちが前面に出てきたのはちょっと違和感を感じた。

山口：番組を何度も観た。

作業しながら音だけ聴いていても全部自分の中でその映像が全部脳裏に映ってて音だけでもその映像が全部出てくる。

それだけ私にとって、すごくインパクトがあった番組だなという風に思った。私がすごく感じたのは、番組の中で森田さんが子どもたちと関わったことで自分も成長できたと表現していた、この後、森田さんの生き方の中でどのように変化があったのかを今後も追って森田さんのコメントが撮れたらいいのかなと思った。この番組を観ながら多くのことを考えさせられたし、いろいろな社会課題が見えてきた。この社会課題をまた番組でクローズアップしてほしい。

中武：森田さんや聖母園で育った子どもたちが馬渡島を思う時に、この絆が良い思い出として残ると感じた。

また、森田さんがよく言っていたプラス思考っていう言葉を何度も子どもにわかりやすく言っていたところが、自分自身にも言ってもらっていると伝わってきました。

松田：見る人の立場によって、いろいろ受け止め方が違うんじゃないかなというのがあった。

馬渡島の現状であったり、聖母園の現状、あと、森田さんの生き方が丁寧に描かれていた。

石崎：馬渡島がカトリック信者が多いということは分かっていたんですけども、昔の写真や映像をも使って、きっちり説明をしていた。

よく、あの子どもたちが撮影を顔出しでオクケーしてくれたなと思いながら観た。でも、最初は表情が硬かったんですけども、打ち解けて表情が変わったなっていうところが伝わってきた。

また、森田さんもいろいろな思いを抱えながら、感情を込めて歌っていたのが印象的だった。

聖母園が無くなり親元に帰る方が良いかや、里親の方が良いかなど思いながらも島にとっては大事な地域の子供たちだったんだと感じた。

居なくなって一気に寂しくなった様子が伝わってきた。

宮崎：番組を観て思ったのは、すごい番組を作ったなというのが正直な感想です。

森田さんも、小学校、中学校のころいじめにあってきたということだったんですけど、子どもの頃そういういじめに遭うとずっとそれを大人になるまで引きずっていくんじゃないかなと思うんですけども、それを引きずらずに強い意志で自分の思ってる方向に進んでいく姿に関心をしました。

また、事情があって聖母園にいる子どもたちですから、森田さんも自分が小さい頃そういう経験をしてきたからこそ、いろいろな事情のある子供の気持ちがよくわかる。自分の経験から、子どもの気持ちの中に入り込める力を身につけて描かれたのかなという風に思いました。

栗原：森田さんが聖母園の子どもたちを支えたいという想いが、終始ストーリーとして流れていたのは変わらなかった。
充分見応えのある番組だった。

審議副対象番組 ①②

●副対象①『からとび』（15分）2023年10月5日 放送回

【番組時間】15分 【制作】富永ほか

地域であったイベントや出来事などをデイリーで放送している『からとび』。

この日は「名護屋小学校でアルモニア管弦楽団コンサート」、「秋の檜原湿原」の2本と、「特集 持続可能な暮らしを求め移住～自然農法に挑む新米農家～」を放送しました。

特集で取り上げた、見本家は、自然農法を取り入れた暮らしの体験会を開催し、自給自足に関心のある人や、農業を始めたい人が多く集い、取材を通して自然農法の注目の高さを感じました。この輪が広がることで、耕作放棄地の活用や移住促進など、地方へ人を呼び込むヒントが見えるかもしれないとの思いで取り上げています。

●副対象②玄海町行政放送『地域みらい留学 唐津青翔高校全国生徒募集』

2023年10月11日初回放送【番組時間】15分

【制作】中西・吉原彩花ほか

今年で開校19年目となる唐津青翔高校。近年は入学者が募集定員を下回り、生徒数も年々減少している状況ですが、学校では地域に根ざした学習活動や、住民との交流を通して地域の課題解決や地域貢献に取り組んでいます。

番組では、玄海町民に学校の様子や活動内容を知ってもらえるように、またYouTubeにもアップするため全国からの生徒募集へつなげることができるよう心がけて制作しました。

●副対象①②まとめた意見（要約）

中村：（①について）

番組というよりは、こういうことがあって動いてるんだという、ニュースにより近いようなところなので作り込んで制作していない。

普段あまりテレビ見ない人にも知っていただきたいなという内容。

少しでも広め、観てもらうことによって、同調する方が出てくればありがたい。

山下：（①について）

いろいろな人がいるので唐津でもいろいろなことがある、幅広い人間が唐津にも居ると感じた。

宮崎：（①について）

この番組を観て草も取らずにこれでできるかっていう感じしか受けない。

ただ、夢を求めて移住してまで自然農法をやろうという方がどんどん出てきて、耕作放棄地が減っていくようなことはいいことだと思いますので、こういうことをテレビでこういうやり方もありますよというPRは良いと思う。

山下：（①について）

これは生き方の問題。

人間も最低限のお金があればなんとかなる、私は農業とか自然農法ではなく唐津にもこういう人が居るという風を感じた。

松田：（①について）

本人もお金がない暮らしをやってみたいと言っていたが、どうやって生活しているかが一言あればモヤモヤが無くなったと思う。

石崎：（①について）

糸島からなぜ唐津にっていうところを知りたかった。

こういう農法があるということにびっくりした。

中武：（①について）

檜原湿原もサギ草だけかなと思ったら、秋の草をたくさん紹介くれたので行ってみたいと思った。

山口：（①について）

法人会さんがこのような取り組みをしていることを私は知らなかった。

からとびを通じて知ることがたくさんある。

地域の方々はからとびはよく観ている。

からとびのニュースは地域情報の1つとして生活の中の一部になっている。

特集で気になったことは地域が全然見えてこなかった。

移住してくると必ず地域とのつながりが必要になるので、この映像の中で見えてきたらもっと良かった。

栗原：(①について)

私たちが知らない情報が、からとびには出てくる。

それが自分自身の役に立っているし、学ばせてもらっている。

そして、地域の話題をたくさん取り上げていくと、誰が出てくるのかや知らないことがたくさん盛り込まれている。

亀井：(②について)

全国からの募集ということで youtube にもアップしている

宮崎：(②について)

青翔高校がどのような活動をしているのか詳しくは知らなかった。

いろいろな分野で努力していることが分かった。

青翔高校は全校で150人、いずれは存続の危機になっていくと思う。

町としてもなんとか存続できるように全国に向けてPRできる番組を作って

生徒が増えていけばと思う。

山下：(②について)

番組の最後に先生たちが「ぜひ来てください」と呼びかけをするが、どこに宿泊をするのかや町民の方への空き家や空き部屋の受け入れなどの情報が最後に出てきたので、もう少し早いタイミングで出すべき。

山口：(②について)

とてもわかりやすい番組だったと思う。

町民さんも青翔高校になかなか入る機会もないので、自分の近くにある高校の生徒さんがどんなことをがんばっているんだということを知るきっかけになったと思う。

時間がなかったのということで、多分、画像を使った紹介が多かったと思うんですけど、でも、その中でも、子供たちが、高校生がすごく生き生きしてたっていうところは、町民さんにとって、青翔高校で学んですごく楽しいんだっていうことが知ってもらえたっていうことはすごくよかったのかなと思う。

町民さんに向けて空き家などのメッセージが入っていたが、言葉だけでは伝わりにくいので映像があれば町民さんもイメージが付きやすかったのではと感じた。

■. その他の番組審議 主な特別番組・主なレギュラー番組

山口：からとびのニュースの最後に流れる明日の行事がすごくうれしい。

■. 次回番組審議会について

亀井：次回番組審議会の開催日については改めて案内する。

■. 閉会